

JAPAN/MARC (A) MARC21フォーマット

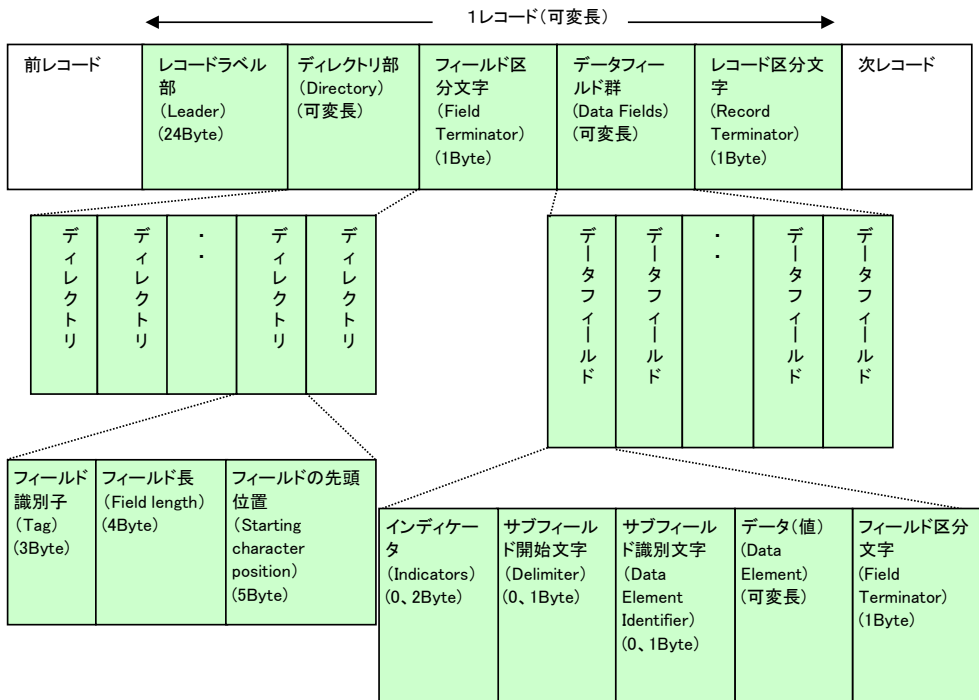
No.	構成要素			特記事項等
	名称	表示形式	表示幅 (Byte)	
				文字コード(*1)
レコードラベル部(*2)				以下No.1~14の固定長(24Byte)
1	典拠レコード長	数字	5	レコードラベル部の先頭より典拠レコードの長さ(バイト数)を5桁の10進数で表示する。 5桁に満たない場合0埋め。"00577" レコードラベル部の長さ(24Byte)+ディレクトリ部の長さ+フィールド区分文字(1Byte)+データフィールド群の長さ+レコード区分文字の長さ(1Byte)
2	レコード・ステータス	英字	1	"n": 新規 "c": 訂正 "d": 削除
3	レコード種別	英字	1	"z"固定
4	未定義項目	英字	2	半角スペース2つ(2Byte)固定
5	文字コード	英字	1	"a"固定
6	インディケータの長さ	数字	1	"2"固定
7	サブフィールド識別子の長さ	数字	1	"2"固定
8	データのベースアドレス	数字	5	データフィールド群の先頭位置を表す。 典拠レコードの先頭からのバイト数を10進数5桁で表示する。 5桁に満たない場合0埋め。"00169"
9	符号化レベル	英字	1	"n"固定
10	未定義項目	英字	2	半角スペース2つ(2Byte)固定
11	データフィールド長領域の長さ	数字	1	"4"固定
12	先頭文字位置領域の長さ	数字	1	"5"固定
13	適用者指定項目の長さ	数字	1	"0"固定
14	未定義項目	数字	1	"0"固定
ディレクトリ部(*2)				可変長。No.1~3のディレクトリの集合より構成される。(12×n Byte) n: データフィールド数
1	フィールド識別子	数字	3	フィールドを識別するための3桁の数字(タグ)>(*3) データフィールドに値のないタグは省略。
2	フィールド長	数字	4	データフィールドの長さ(バイト数)を示す4桁の10進数。4桁に満たない場合0埋め。"0009" フィールドの長さには、インディケータ、サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字、及びフィールド区分文字も含む。
3	フィールドの先頭位置	数字	5	当該フィールドの先頭文字の位置をデータフィールド群の先頭(データのベースアドレス)から相対バイト数で示す。5桁の10進数で、5桁に満たない場合0埋め。"00015"
フィールド区分文字(*2)				ディレクトリ部の最後に挿入する。
1	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e(Hex)固定

No.	構成要素			特記事項等
	名称	表示形式	表示幅 (Byte)	
データフィールド群(*2)				固定長／可変長。 ・ディレクトリにて指定された位置、長さのデータフィールドの集合により構成される。 ・前述した「データフィールドの長さ」は、以下のNo.1～5の長さの合計値とフィールド区分文字との和を表す。 ・データのないデータフィールドは省略。 ・サブフィールド識別子を持たないデータは、以下のNo.1～3の項目を省略。 ・データ及びタグについては(*3)を参照。
1	インディケータ	数字 / 英	0,2	存在しない場合は省略。
2	サブフィールド開始文字	Binary	0,2	サブフィールド識別子の最初の文字。1f(Hex) 固定
3	サブフィールド識別文字	数字 / 英 字	1	サブフィールド識別子の2文字目。サブフィールドを識別するための英小文字1字。(*3)
4	データ	数字 / 英 字 / 漢字	可変長	データフィールドの値を表示。
5	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e(Hex) 固定
レコード区分文字 (*2)				各レコードの最後に挿入する。
1	レコード区分文字	Binary	1	レコード区分文字。1d(Hex) 固定

(*1)文字コード体系は、以下のとおりとする。

文字コード	符号化方式
UCS or ISO/IEC 10646	UTF-8

(*2)本ファイルのレコード形式の考え方を以下にまとめる。



(*3)以下にタグ一覧を記載する。凡例は以下のとおり。

【フィールド】

番号順にフィールドを並べる。

【サブフィールド識別文字／文字位置】

出現順にサブフィールド識別文字・文字位置を並べる。

【必須】

当館で作成する典拠データにおけるフィールド、サブフィールド、文字位置の要求度を示す。フィールド名と同行にある場合は、フィールドの要求度、サブフィールド名又は文字位置名と同行にある場合は、フィールドが存在する場合のサブフィールドの要求度をそれぞれ示す。

フィールド、サブフィールド、文字位置が省略不可で、必ず出現する場合は「M」と記載する。当フォーマットでは、固定長フィールドの任意の文字位置においてコード不使用の値("I")が許容される場合であっても、値の省略は不可であることから、「M」と記載することとする。

<記号の用法>

- M : 必須 (Mandatory)
- A : あれば必須 (Applicable)
- O : 任意 (Optional)

【繰り返し】

フィールド単位、サブフィールド単位の繰り返し可否を示す。フィールド名と同行にある場合は、フィールド単位の繰り返し、サブフィールド名と同行にある場合は、サブフィールド単位の繰り返しをそれぞれ示す。繰り返し可否については、米国議会図書館の定める「MARC 21 Format for Authority Data」に基本的に準拠するが、一部、当館の典拠作成ルールにより、繰り返しに制約を設ける。

<記号の用法>

- O : 繰り返し可
- 空白 : 繰り返し不可

【備考】

<記号の用法>

- # : 半角スペース

【サンプル】

サブフィールド単位でサンプルデータを例示する。必ずしもフィールド単位で一連のデータになっていないことを注意されたい。

<記号の用法>

- # : 半角スペース

フィールド	フィールド名	イン ディ ケータ 1	イン ディ ケータ 2	サブ フィールド 文字/ 文字位置 識別	サブフィールド 名称/ 文字位置名 称	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル
001	レコード管理番号	-	-			M			00054222
003	レコード管理番号識別子	-	-			M		"JTNDL"固定	JTNDL
005	レコード最終更新年月日	-	-			M		YYYYMMDDHHMMSS.0	20001221145237.0
008	一般コード化情報(共通)	-	-			M		固定長40Byte	
				00-05	レコード新規作成年月日	M		YYMMDD YYは西暦年の下二桁	091221
				06	地理区分指示	M		"#"固定	#
				07	ローマ字化スキーム	M		" "固定	
				08	目録用言語	M		" "固定	
				09	典拠の種類	M		"a"固定	a
				10	適用する目録規則	M		"z"固定	z
				11	適用する件名標目表	M		"z"固定	z
				12	シリーズのタイプ	M		"n"固定	n
				13	シリーズの番号付の有無	M		"n"固定	n
				14	タイトル標目及び著者標目としての使用可否	M		"a"固定	a
				15	件名標目としての使用可否	M		"a"固定	a
				16	シリーズ標目としての使用可否	M		"b"固定	b
				17	細目の種類	M		"n"固定	n
				18-27	未定義	M		"#####"	#####
				28	官公庁の種類	M		"f":中央官庁 "l":地方自治体 "#":官公庁以外 " ":コード不使用	f
				29	レファレンス・エヴァリュエーション	M		" "固定	
				30	未定義	M		"#"固定	#
				31	レコードの状態	M		" "固定	
				32	個人名典拠がユニークか否か示すコード	M		"a":個人名がユニークである "n":適用外 個人名典拠の場合常にaを記録する。それ以外の場合は家族名を含めnを記録する。	n

フィールド	フィールド名	イン ディ ケータ 1	イン ディ ケータ 2	サブ フィールド 文字 ／文字 位置 識別	サブフィールド 名称 ／文字位置名 称	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル
				33	標目確立状況	M		"a": 確立標目 "c": 未確認標目 "d": 仮標目 c,dは一部データに出現するが、通常はaである。	a
				34- 37	未定義	M		"####"固定	####
				38	改変レコード	M		"#": 改変なし "x": 文字の欠落あり(レコード中にゲタ(=)が存在する場合)	x
				39	典拠作成機関	M		"#"固定	#
035	他MARC番号等	9	#			O	O		
				\$a	その他管理番号	M		旧典拠IDを記録する。	00256779
040	典拠作成機関等	#	#			M			
				\$a	目録作成機関	M		"JTNDL"固定	JTNDL
				\$b	目録用言語	M		"jpn"固定	jpn
				\$c	目録変換機関	M		"JTNDL"固定	JTNDL
				\$e	目録規則	M		"ncr"固定	ncr
				\$f	件名標目表	M		"ndlsh"固定	ndlsh
065	分類記号(NDLC、NDCなど)	#	#			O	O		
				\$a	分類記号	M			EC94
				\$2	分類法	M		"kktb": "NDLC" "njb/09": "NDC 9版" "njb/08": "NDC 8版"	kktb
100	標目-個人名	1 3	#			A		第1インディケータ: 実体種別 "1": 個人名 "3": 家族名	
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-01
				\$a	個人名	M			【個人名】 Rudolf 【家族名】 Habsburg(家)
				\$b	世系	A			1世
				\$d	生没年	A			1219-1291
				\$c	その他の付記事項	A			神聖ローマ皇帝
110	標目-団体名	2	#			A			
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-01

フィールド	フィールド名	インディケータ1	インディケータ2	サブフィールド文字／文字位置識別	サブフィールド名称／文字位置名称	必須	繰り返し	備考	サンプル
				\$a	団体名	M		団体名の付記事項は、標目形に続けて、括弧付きでここに記録する。	日本総合研究所(1989年)
130	標目-統一タイトル	#	0			A			
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-01
				\$a	統一タイトル件名	M			てにをは紐鏡
				\$x	主題細目	A	○		評釈
				\$z	地名細目	A	○		
				\$y	時代細目	A	○		
				\$v	形式細目	A	○		索引
151	標目-地名	#	#			A			
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-01
				\$a	地名	M			アメリカ合衆国
				\$x	主題細目	A	○		外国関係
				\$z	地名細目	A	○		アラブ諸国
				\$y	時代細目	A	○		1945-
				\$v	形式細目	A	○		年表
400	「を見よ」参照指示-個人名	1	#			A	○	第1インディケータ: 実体種別 "1": 個人名 "3": 家族名	
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-02
				\$w	コントロール・サブフィールド	A		\$w/0(当該サブフィールド内の1桁目の文字位置) "a": 旧称 "b": 新称 "d": 略称 "r": \$iに関係性を示す文字列を記録する	r
				\$i	名称種類	A		\$w="r"の場合に、ここに標目形との関係性を示す文字列を記録する。	本名
				\$a	個人名を見よ参照形	M			古今亭, 志ん馬
				\$b	世系	A			5代目
				\$d	生没年	A			1912-
				\$c	その他の付記事項	A			医学
410	「を見よ」参照指示-団体名	2	#			A	○		
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-02

フィールド	フィールド名	イン ディ ケータ 1	イン ディ ケータ 2	サブ フィー ルド 文字 位置 識別	サブ フィー ルド 名称 位置 名称	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル
				\$w	コントロール・サブフィールド	A		\$w/0(当該サブフィールド内の1桁目の文字位置) "a":旧称 "b":新称 "d":略称 "r":\$iに關係性を示す文字列を記録する	r
				\$i	名称種類	A		\$w="r"の場合に、ここに標目形との關係性を示す文字列を記録する。	英語名
				\$a	団体名を見よ参照形	M			Nagoya Chamber of Commerce and Industry
430	「を見よ」参照指示-統一タイトル	#	0			A	○		
				\$6	読みの対応關係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応關係を記述する。注1を参照。	880-02
				\$w	コントロール・サブフィールド	A		\$w/0(当該サブフィールド内の1桁目の文字位置) "a":旧称 "b":新称 "d":略称 "r":\$iに關係性を示す文字列を記録する	r
				\$i	名称種類	A		\$w="r"の場合に、ここに標目形との關係性を示す文字列を記録する。	原名称
				\$a	統一タイトル件名を見よ参照形	M			東海道中膝栗毛
				\$x	主題細目	A	○		評釈
				\$z	地名細目	A	○		
				\$y	時代細目	A	○		
				\$v	形式細目	A	○		索引
451	「を見よ」参照指示-地名	#	#			A	○		
				\$6	読みの対応關係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応關係を記述する。注1を参照。	880-02
				\$w	コントロール・サブフィールド	A		\$w/0(当該サブフィールド内の1桁目の文字位置) "a":旧称 "b":新称 "d":略称 "r":\$iに關係性を示す文字列を記録する LCSH又はBSHの典拠レコード管理番号を\$iに記録する場合、"r"を入力する。	r
				\$i	名称種類	A			BSH4: 00697000
				\$a	地名を見よ参照形	M			イギリス
				\$x	主題細目	A	○		外国關係
				\$z	地名細目	A	○		アジア(東部)

フィールド	フィールド名	インディケータ1	インディケータ2	サブフィールド文字/文字位置識別	サブフィールド名称/文字位置名称	必須	繰り返し	備考	サンプル
				\$y	時代細目	A	○		18世紀
				\$v	形式細目	A	○		論文集
500	「をも見よ」参照指示-個人名	1	#			A	○	第1インディケータ: 実体種別 "1": 個人名 "3": 家族名	
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-03
				\$w	コントロール・サブフィールド	A		\$w/0(当該サブフィールド内の1桁目の文字位置) "a": 旧称 "b": 新称 "d": 略称 "r": \$iに関係性を示す文字列を記録する	r
				\$i	名称種類	A		\$w="r"の場合に、ここに標目形との関係性を示す文字列を記録する。	本名
				\$a	個人名をも見よ参照形	M			井上, 幸一
				\$b	世系	A			2世
				\$d	生没年	A			1870-1934
				\$c	その他の付記事項	A			川柳
				\$0	リンク先レコード管理番号	M			00019597
510	「をも見よ」参照指示-団体名	2	#			A	○		
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-03
				\$w	コントロール・サブフィールド	A		\$w/0(当該サブフィールド内の1桁目の文字位置) "a": 旧称 "b": 新称 "d": 略称 "r": \$iに関係性を示す文字列を記録する	b
				\$i	名称種類	A		\$w="r"の場合に、ここに標目形との関係性を示す文字列を記録する。	別名称
				\$a	団体名をも見よ参照形	M			大日本雄弁会講談社
				\$0	リンク先レコード管理番号	M			00256844
551	「をも見よ」参照指示-地名	#	#			A	○		
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注1を参照。	880-03

フィールド	フィールド名	イン ディ ケータ 1	イン ディ ケータ 2	サブ フィールド 文字 位置 識別	サブフィールド 名称 位置 名称	必須	繰 り 返 し	備考	サンプル
				\$w	コントロール・ サブフィールド	A		\$w/0(当該サブフィールド内の1桁目の 文字位置) "a":旧称 "b":新称 "d":略称 "g":上位語 "h":下位語 "r":\$iに関係性を示す文字列を記録 する	g
				\$i	名称種類	A			
				\$a	地名をも見よ 参照形	M			ロシア
				\$x	主題細目	A	○		外国関係
				\$z	地名細目	A	○		アメリカ合衆国
				\$y	時代細目	A	○		20世紀
				\$v	形式細目	A	○		史料
				\$0	リンク先レ コード管理番 号	M			00569729
670	根拠	#	#			A	○		
				\$a	根拠	M			ある未来の座標, 1970
				\$b	情報源	A			本文(読み)
675	推量読み等	#	#				○		
				\$a	推量読み等	M	○		名は推量読み
678	来歴	0 1	#				○	第1インディケータ:データ種別 "0":個人名・家族名 "1":団体名・地名	
				\$a	来歴	M			2001年1月省庁再編
				\$b	来歴の根拠		○		ReaD(20101101)
680	一般注記	#	#				○		
				\$i	一般注記	M			名称の種類:本名
682	標目訂正に関する注 記	#	#				○		
				\$i	標目訂正に関 する注記	M	○		稲荷神社→伏見稲 荷大社(20040707)
880	他の字形による表現 (かな読み・ローマ字 読み)	X	X			A	○	第1インディケータ・第2インディケータ 対応するフィールドの指示子と同値と する。読みの表現については、注1を参 照。	
				\$6	読みの対応関 係	M		対応するフィールドを指示する。	100-01/\$1
				X	対応する フィールドに 同じ	M		対応するフィールドと同じ用法でサブ フィールドを使用する。	

注1 読みの表現方法について

読みの表現方法 [Appendix C – Multiscript RecordsのModel A](#) に準拠する。

正規フィールドに対応するカナ形・ローマ字形読みをフィールド880に保持する。正規フィールドと読みフィールドの対応関係は、サブフィールド\$6に下記のとおり値を格納することにより表現する。

フィールド名	\$6の値
正規フィールド	読みフィールド番号-オカレンス番号
読みフィールド(カナ形)	正規フィールド番号-オカレンス番号/\$1
読みフィールド(ローマ字形)	正規フィールド番号-オカレンス番号/(B

※"/"はAppendix Dで規定されている区切り記号。"\$1"はScript identification codeで"Chinese, Japanese, Korean"を意味するコード値、"(B"はScript identification codeで"Latin"を意味するコード値。

以下の例では、サブフィールド開始文字を「\$」、フィールド区分文字を「¥」、半角スペースを「#」と表記する。

【例1】

フィールドインディケータ 値

100	1#	\$6880-01 \$a栗本,#薫, \$d1953-2009¥
500	1#	\$6880-02 \$a中島,#梓, \$d1953-2009 \$000104727¥
880	1#	\$6100-01/\$1 \$aクリモト,#カオル, \$d1953-2009¥
880	1#	\$6100-01/(B \$aKurimoto,#Kaoru, \$d1953-2009¥
880	1#	\$6500-02/\$1 \$aNakajima,#アズサ, \$d1953-2009 \$000104727¥
880	1#	\$6500-02/(B \$aNakajima,#Azusa, \$d1953-2009 \$000104727¥